

ウォーキング

稲生の郷を訪ねて

令和8年6月13日（土）

1. ルート 近鉄鼓ヶ浦駅～子安観音寺～こがね園住宅団地経由～伊奈富神社～
稲生民俗資料館～慈恩寺～御座池公園～近鉄白子駅

9.5 km (15,000 歩)

2. 参加者 伊橋健治・伊藤利男・太田 徹・喜吉 雄・高木 勉・伝田 貢
中村軍志・中村 衛・濱田 一

9 名

3. ドキュメント

9時40分鈴鹿市の鼓ヶ浦駅前に集合。この時、社友会事務局の伊藤禎規さんが見送りのためバイクで駆けつけてくれました。本人は参加したかったようですが大切な用のため断念されたようで駅前で写真を撮ってくれました。



歩き始め前の鼓ヶ浦駅前

駅からすぐのところ、擬宝珠の付いた小さな橋を渡ると安産や子育てで知られている霊験あらたかな「子安観音寺」が祀られている。みんなでお参りすることとする。



擬宝珠の付いた小さな橋



子安観音寺仁王門



山門の仁王像



かわいいキャラクター



天然記念物の不断桜



三重塔

寺内の主な文化財は、

1. 不断桜 (大正12年(1923)3月7日国指定文化財(天然記念物))
2. 銅燈籠 (昭和47年(1972)4月1日三重県指定文化財)
3. 仁王門 (桜門又は山門で桜山の白子山の額をきり昭和47年4月11日三重県指定文化財)
4. 俳人の句碑 (五老井築雄 句碑、山口昌子 句碑・詩碑)がある。

立派な山門に入ると両脇に仁王像がある。これが文化財の仁王門である。観音堂にお詣りして今日の無事を祈願する。左手に桜の木があり、大切に保護され新緑の葉を茂らしている。一年中、花を咲かせるところから不断桜と呼ばれている。花を探してみただけでも見つけることが出来なくて残念であった。

子安観音を後にして国道23号を渡って稲生の方面に西向いて歩を進める。寺家町を抜けて稲生塩屋に入るところにはまだ10時30分ごろにもかかわらず暑さを覚え汗ばんでくる。でも南側に広がる田園を見つめながら気持ちよく歩く。途中、加和良神社の祠に辿りついたので木陰を借りて給水タイムを摂る。



寺家・稲生塩屋に広がる田園



加和良神社



稲奈富神社



民家の庭に咲くアジサイ



稲奈富神社の社殿前で記念撮影

塩屋を抜けてこがね園住宅団地を過ぎるといよいよ稲生の郷に辿りつく。稲生と言えば F 1 と 8 耐が行われる鈴鹿サーキット、稲奈富（いのう）神社、人間国宝の伊勢型紙で知られている。10時50分、稲奈富神社に参拝する。静かなところに鎮座する神々しい神殿である。4月には神殿を囲む庭園にはムラサキツツジが咲き乱れるとのことである。神社の傍に稲生民俗資料館が設置されていたので覗いてみることにする。昔懐かしい農機具や生活用品が展示されていた。女性の館員に「触らないで」と何度も注意を受けながら水車・風とおみ・石臼など私たちが子供のころ使われていた道具を懐かしく思い浮かべたのであった。



なわ編み機



足ふみ雑穀機



風送りとおみ



稲生の町中を歩く

資料館にお礼を述べて町中に入ると慈恩寺の立派な伽藍の寺に立ち寄る。庭のツボの中に睡蓮の花が咲いていた。時既に11時30分、皆さんお昼が待ちどうしいのか、暑さで疲れてきたのか先を急いで稲生の郷を後にして御座池を目指して歩く。



ハスのつぼみとスイレン



慈恩寺の山門



慈恩寺の本堂



御座池の一角



サーキット道路を東へ30分ほど歩くと御座池公園に到着。大きな御座池はメガソーラが浮かべられて見るも無残な姿を見せていた。公園では子供たちが楽しそうに水遊びをしていた。屋根のあるベンチの一角を借りて早速弁当を開いていつものようにスーパードライで乾杯・・・汗をかいた後の一杯は美味しい。お酒「作」とワインの差し入れもあってちょっと度が過ぎたか？ 12時15分から13時45分の間、お昼タイムを楽しむ。昼食後三度目の集合写真を撮りました。みなさん朝より元気そうですね。公園から30分余り時間をかけて近鉄白子駅に到達。7月の例会での再会を約して解散する。